

JAWRO 後援男女共同参画特別講演会 座長報告

群馬大学 重粒子線医学推進機構 岡野奈緒子

この度、ハイブリッド開催されました日本医学放射線学会の会期に合わせ、2022年4月16日 JAWRO 後援 男女共同参画特別講演会が順天堂大学の会場と Zoom 併用のハイブリッド形式にて開催されました。本講演会にてオンラインの座長を務めさせていただきましたので、ご報告いたします。

新型コロナウイルス感染症は未だ収束が見えない状況にありながらも、少しずつ日常を取り戻しつつある状況を踏まえ、第81回日本医学放射線学会総会は、パシフィコ横浜と web のハイブリッド形式で開催されました。本会の会期に合わせ、順天堂大学の齋藤アンネ優子先生の企画のもと順天堂大学で本講演会が開催されることとなりました。一方、現状では Web 参加された JAWRO 会員の方も多い状況であることから、今回初の試みとして、現地の講演会への web 参加について JAWRO が後援させていただくこととなりました。

本講演では、米国メイヨークリニック放射線治療学講座 教授の KENNETH R. OLIVIER 先生を特別講演にお招きし、Gender Diversity in Medicine: US and Japan (医療現場でのダイバーシティ 米国と日本の比較) というタイトルで、30分ほどのご講演をいただきました。その後、順天堂大学 放射線診断学 菊田潤子先生、東京医科歯科大学 脳神経外科 原祥子先生がパネラーに加わり、4名の先生方により現地及び web 参加者からの質問応答や関連するディスカッションが行われました。オリバー先生はまさに、医療現場・教育現場においてダイバーシティを推進してこられた先生であり、関連する業績も多数おありです。何より、多くの有能な女性医師を埋もれさせてはいけない、それこそが今後の医療の発展になくてはならないものである、という信念の下、メイヨークリニックという素晴らしい現場で長きに渡り医療・教育に携わってこられたご経験から、米国の状況についてわかりやすくお話しいただきました。また、現在の日本の状況について憂慮されている点などについて、医学部入試問題などの我々にとって身近なテーマも取り上げながら先生のご意見を伺うことができました。後半の質疑応答においては、質問が多く寄せられ、30分のディスカッション時間では収まりきらない状況でしたが、全ての質問にパネラーの先生方の経験も踏まえ、丁寧なご回答もいただき、参加者の理解がより深まりました。

これまで、JAWRO では IT 委員会を中心に zoom にて懇談会、総会、報告会などの開催を重ね、コロナ時代・子育て世代のニーズに合わせた web 会合の形式を模索してきた経緯がありました。こうした経験と今回の機会が融合し、会員の皆様にとっても参加しやすく、ご講演の先生方にとっても多くの参加者にメッセージを届けられるという、よりメリットのある形式での開催が成功裏に終えられたことにつきまして、収穫の多い会であったと思います。

最後に医療現場で働く女性への多くのエールを届けてくださいましたオリバー先生に厚く御礼申し上げます。本講演を企画、開催にあたり多大なるご尽力をいただきました順天堂大学附属病院 放射線治療科、JAWRO 渉外委員長 齋藤アンネ優子先生、順天堂大学のシンポジウム事務局の皆様、オンライン開催に向けた環境を整えていただきました JAWRO IT 委員長 宇藤恵先生、またご参加いただきました皆様に心より感謝申し上げます。